

2020 年度 西洋梨【有袋版】病虫害防除暦

JA 中野市営農センター
JA 中野市ナシ部会

- ◆ 無袋栽培専用防除暦は裏面をご覧ください。
- ◆ 有袋・無袋共通:キノンドー顆粒水和剤に代えて、キノンドーフロアブルでもよい。

散布日	散布時期	使用薬剤名	使用量	収穫前 使用 時期	年間 使用 回数	10a当り 散布量 (ℓ)	対象病虫害	注 意 事 項
月 日	第 1 回 3月下旬 (発芽前)	(水88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順:スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用し、よく攪拌する。 ② 石灰硫黄合剤に代えて、トップジン M 水和剤の1000 倍(前日、6 回)でもよい。
月 日	第 2 回 開花期 4月下旬	展着剤 サムコルフロアブル10 トップジン M 水和剤	10mℓ 20mℓ 100g	前日 前日	3回 6回	300	腐らん病 輪紋病 ケムシ類 ハマキムシ類	① 訪花昆虫に十分に注意する。 ② 赤星病対策 オンリーワンフロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。
月 日	第 3 回 5月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベンレート水和剤	10mℓ 25g 50g	前日 前日	3回 4回	400	輪紋病 胴枯病 アブラムシ類	① 訪花昆虫保護のため、指定薬剤以外散布しない。
月 日	第 4 回 5月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 コルト顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤	10mℓ 25g 200g	前日 30日前	3回 5回	400	輪紋病・黒斑病 黒星病 アブラムシ類 カイガラムシ類	① アブラムシ類の発生が目立つ場合は今回の散布を早める。
月 日	第 5 回 6月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 ダズバン DF キノンドー顆粒水和剤	10mℓ 33g 100g	30日前 3日前	3回 9回	500	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブルの 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。 ② カメムシ類対策 ダズバンDFに代えて、アルバリン顆粒水溶剤の 2000 倍(前日、3 回)を使用する。
月 日	第 6 回 6月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 シトラノフロアブル スプラサイド水和剤	10mℓ 100mℓ 66g	30日前 7日前	3回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カイガラムシ類	① 輪紋病対策 袋掛けの前に散布する。また、輪紋病感染防止のため、散布後 3 日以内に袋をかける。 ② ハダニ類対策:カネマイトフロアブル 1000 倍(前日、1 回)を加用する。
月 日	特別散布 7月初旬	展着剤 オキシラン水和剤	10mℓ 200g	3日前	9回	600	輪紋病	🌱 輪紋病対策 袋掛けが遅れている場合は、今回の特別散布を実施する。散布時期は前回より 10 日後を目安とする。
月 日	第 7 回 7月上旬 (前回 20 日後)	展着剤 バイスロイド EW ナリアWDG	10mℓ 50mℓ 50g	7日前 前日	2回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	① ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
月 日	第 8 回 7月下旬 (前回 20 日後)	展着剤 ダニゲッターフロアブル キノンドー顆粒水和剤 オリオン水和剤 40	10mℓ 50mℓ 100g 100g	前日 3日前 3日前	1回 9回 2回	600	輪紋病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類	① ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻やシャインマスカットに飛散しないように注意する。
月 日	第 9 回 8月中旬 (前回 20 日後)	展着剤 キノンドー顆粒水和剤 イカズチ WDG	10mℓ 100g 66g	3日前 前日	9回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	① オーロラ等の最終散布。 ② ハダニ類対策 コロマイト乳剤の1000 倍 (前日、1回)を加用する。 ③ キノンドー顆粒水和剤に代えて、ベルコートフロアブル 2000 倍(14 日前、5 回)でもよい。なお、ベルコートフロアブルは、ル・レクチュエに薬害を生じるので使用しない。
月 日	第 10 回 9月中旬 (前回 20 日後)	展着剤 ダントツ水溶剤 ストロビードライフロアブル	10mℓ 50g 50g	前日 前日	3回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類	① ラ・フランス・バラード等の最終散布。 ② ストロビードライフロアブルに代えて、キノンドー顆粒水和剤 1000 倍(3 日前、9 回)でもよい。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します